記者発表資料

平成 29 年 10 月 12 日
国土交通省東北地方整備局
新庄河川事務所
大蔵村

大蔵村にお住まいの方々と砂防施設を見学します
～砂防施設の役割と土砂災害に対する自らの備えを学びます～

砂防施設の整備により、土砂災害から地域の暮らしは守られるようになってきていますが、時間の経過とともに砂防施設が果たす大きな役割は人々の中で次第に防災の意識同様に薄れていきます。

砂防施設の役割と土砂災害に対する自らの備えについて学んでいただき、防災意識を向上するための取り組みを行います。

新庄河川事務所では、土砂災害を未然に防止し住民の生命・財産を守るために、大蔵村（銅山川流域）において直轄砂防事業を昭和 22 年から実施しており、これまでに、多くの砂防施設を整備してきました。地域の暮らしが安全となる一方で、防災の意識は薄れて行く傾向があります。

砂防施設の見学会等では、砂防堰堤の効果及び近年発生した土砂災害への対応等について、現地で説明を行い、砂防事業の認識を深めていただきます。また、「銅山川の砂防と未来を考える会」では、防災意識を向上するための講演を行います。

記

■実施内容

① 砂防施設見学会（舛玉砂防堰堤他 3 箇所）

日　　時 ： 平成 29 年 10 月 15 日（日）　9：20～11：05

② 「銅山川の砂防と未来を考える会」（大蔵村　肘折いでゆ館）

日　　時 ： 平成 29 年 10 月 15 日（日）11：15～12：00

・「直轄砂防の歩みと今後の事業展開」
（新庄河川事務所長）

・講演：「防災施設の役割と限界、自らの備えについて」
（講師：弘前大学　教授　檜垣大助　氏）

※詳しくは、別紙を参照下さい。

（発表記者先）
新庄新聞放送記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
〒996-0071 新庄市小田島町 5－55　TEL 0233（22）0262（調査課直通）
副所長（砂防）　鴫原（しぎはら）　吉隆（よしたか）（内線 205）
調査課長　窪田（くぼた）　敏一（としかず）（内線 351）

大　蔵　村
〒996-0212　山形県最上郡大蔵村大字清水 2528　TEL 0233（75）2111
地域整備課長　髙山（たかやま）　和広（かずひろ）

「砂防施設見学会」及び「銅山川の砂防と未来を考える会」講演等

行　程　表

〇期日：平成29年10月15日（日）

〇砂防施設見学会

見学場所等	時刻等		備考
舛玉砂防堰堤 （説明：20分） ※大蔵村升玉地区	着	9:20	
	発	9:40	※大蔵村のバスにて移動
			移動時間：5分
日陰倉第2砂防堰堤 （説明：20分） ※大蔵村日陰倉地区	着	9:45	
	発	10:05	※大蔵村のバスにて移動
			移動時間：10分
豊牧排水トンネル （説明：20分） ※大蔵村豊牧地区	着	10:15	
	発	10:35	※大蔵村のバスにて移動
			移動時間：10分
小松渕護岸 (説明：20分) ※大蔵村肘折地区	着	10:45	
	発	11:05	※大蔵村のバスにて移動
			移動時間：5分
肘折いでゆ館 ※大蔵村肘折地区	着	11:10	

〇銅山川の砂防と未来を考える会（講演等）

場所	時刻等		備考
肘折いでゆ館 （講演等：45分） ※大蔵村肘折地区	開始	11:15	直轄砂防の歩みと今後の事業展開 （新庄河川事務所長）
	開始	11:30	防災施設の役割と限界、自らの備えについて ～大蔵村の災害に係る要因と誘因を踏まえた土砂災害への備えについて～ （講師：弘前大学　教授　檜垣大助　氏）
	終了	12:00	

：主要なポイント